

久井地域

1. 地域の概要

- 全域が都市計画区域外で、地域生活拠点（久井支所周辺・江木地区）を中心とし、丘陵地などの自然に恵まれた農村集落地域です。



表 対象地区・対象小学校区（久井地域）

対象地区	久井町
対象小学校区	久井

表 人口・世帯数, 土地利用の状況（久井地域）

	人口・世帯数			面積(ha)	割合 (%)	
	総人口 (人)	4,353			自然的土地利用	5,351.2
0~14 歳人口 (人)	426		田	1,168.9	18.8	
15~64 歳人口 (人)	2,013		畑	116.5	1.9	
65 歳以上人口 (人)	1,914		山林	3,620.1	58.2	
世帯数 (世帯)	1,640		水面	145.1	2.3	
人口・世帯数 			その他自然地	300.5	4.8	
				都市的土地利用	874.0	14.0
				住宅用地	212.1	3.4
				商業用地	16.3	0.3
				工業用地	32.7	0.5
				道路用地	337.2	5.4
				その他	275.6	4.4

【資料：人口は平成 22 年・平成 27 年国勢調査，土地利用状況は平成 24 年都市計画基礎調査】

2. 地域の現状

(1) 丘陵地とため池の多い久井特有の田園景観

- 本地域は古くから穀倉地帯で、現在でも川沿いに集落や田園が広がっています。
- 農村集落には多くの丘陵地やため池があり、地域の田園風景の特徴にもなっています。

(2) 久井の岩海など豊かな自然環境

- 国指定天然記念物である久井の岩海があり、自然環境に恵まれた地域です。
- ヒョウモンモドキの生息地など、貴重な自然環境のある地域です。

(3) 三原市宇根山天文台など豊富なレクリエーション施設

- 宇根山天文台や久井青年の家、宇根山家族旅行村など自然を活かしたレクリエーション施設も多くあります。

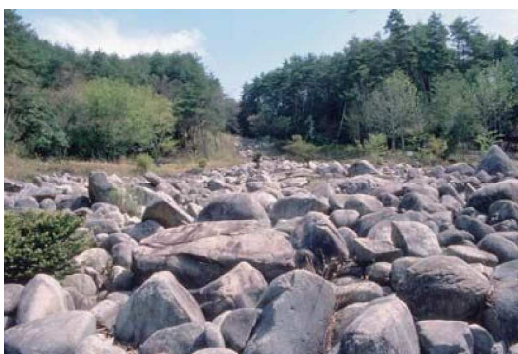


写真 久井の岩海



写真 宇根山家族旅行村



写真 くい文化センター

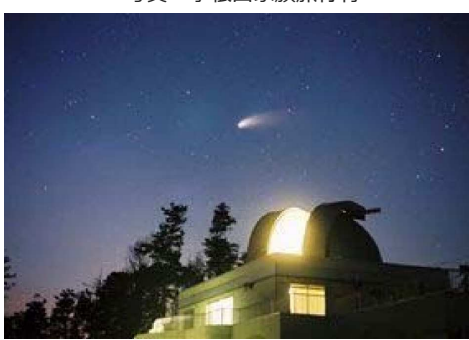


写真 宇根山天文台

3. 地域住民の意識

○本地域は、全項目の平均の満足度が-0.29 と全市平均（-0.04）より低く、全項目の平均の重要度は0.72 と全市平均（0.59）より高くなっています。

○満足度が全市平均より低く、重要度が全市平均より高い「分類評価Ⅰ」に該当するものは13項目あり、安全性に4項目、利便性に6項目、快適性に1項目、にぎわいに2項目が該当しています。

表 久井地域の満足度・重要度

			満足度	重要度	分類評価
安全性	1	建築物の不燃化・耐震性の確保	-0.05	0.48	Ⅱ
	2	災害対策	-0.21	0.75	Ⅰ
	3	広さ、バリアフリー化など歩道の安全性	-0.34	0.76	Ⅰ
	4	公共施設のバリアフリー化の状況	-0.27	0.67	Ⅰ
	5	道路の幅や避難路の確保	0.05	0.73	Ⅲ
	6	夜間街灯による安全性	-0.54	1.06	Ⅰ
利便性	7	公共交通機関の利用のしやすさ	-1.00	1.17	Ⅰ
	8	学校等への行きやすさ	-0.34	0.81	Ⅰ
	9	買い物のしやすさ	-0.91	1.01	Ⅰ
	10	金融機関への行きやすさ	-0.54	0.87	Ⅰ
	11	公民館や集会所への行きやすさ	-0.17	0.84	Ⅰ
	12	病院福祉施設への行きやすさ	-0.72	1.29	Ⅰ
快適性	13	身近な公園広場	-0.38	0.57	Ⅱ
	14	身近な住まいのまちなみの美しさ	0.18	0.51	Ⅳ
	15	自然や田園風景	0.51	0.66	Ⅲ
	16	下水道等の整備状況	-0.63	0.73	Ⅰ
	17	日当たりなどの周辺環境の良さ	0.81	0.63	Ⅲ
	18	公害の少なさ	0.64	0.79	Ⅲ
にぎわい	19	娯楽・アミューズメント施設のにぎわい	-0.55	0.21	Ⅱ
	20	商業地・商店街の人通りのにぎわい	-0.76	0.49	Ⅱ
	21	祭り・イベント等のにぎわい	-0.18	0.78	Ⅰ
	22	文化財・史跡・文化施設のにぎわい	-0.48	0.61	Ⅰ
	23	スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	-0.47	0.52	Ⅱ
	24	キャンプ場・海水浴場などでのにぎわい	-0.53	0.33	Ⅱ
全項目平均			-0.29	0.72	-
全市平均			-0.04	0.59	-

黄色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの（分類評価Ⅰ）

- Ⅰ：特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある
- Ⅱ：満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない
- Ⅲ：満足度は高いが今後も取り組みを重点的に維持していく必要がある
- Ⅳ：満足度を維持するため、今後も取り組みを維持していく必要がある

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

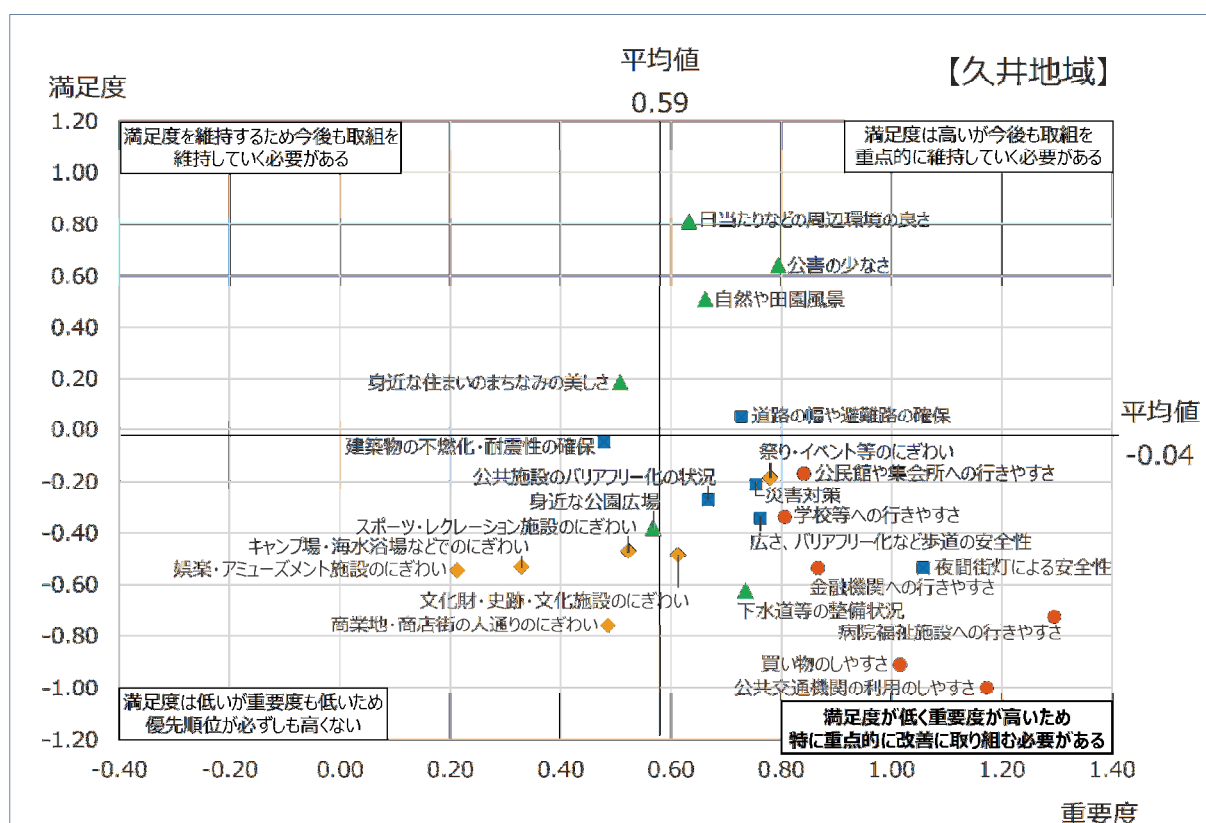


図 分類評価（久井地域）

※満足度及び重要度の平均値は、全市平均値

4. 地域のまちづくりの課題

(1) 久井の岩海などの自然資源やレクリエーション施設，農業を活かした交流の促進

- 久井の岩海などの自然資源，宇根山天文台などのレクリエーション施設，田園環境などを活かした交流の促進が必要です。

(2) 広島中央フライトロードや田園環境を活かした定住の促進

- 生産など多様な機能を有する農地を保全するとともに，定住の促進を図るため，生活利便性の維持・向上や営農環境の保全などが必要です。
- 生活排水対策により生活環境の向上が必要です。
- 定住の促進を図るため，恵まれた交通条件を活かして，都市と農村の交流促進が必要です。

(3) 土砂災害などの自然災害に強い安全なまちづくり

- 既存集落の背後は急峻な山林となっており，土砂災害危険箇所が多くあることから，防災対策が必要です。

5. 地域の将来像

本地域には，久井の岩海など豊かな自然環境，丘陵地とため池の多い特有の田園風景，宇根山天文台など豊富なレクリエーション施設があります。住民意識調査では，公共交通機関の利便性に高いニーズが伺えます。このような地域特性，課題を踏まえて，目標とする将来像を次のとおり設定します。

田園環境や自然と共生する 高原のまち

- 自然資源や農業などを活かした交流のまち
- 田園環境を活かした緑豊かな定住のまち
- 地震・火災・洪水・土砂災害などの災害に強い安全なまち

6. 地域のまちづくり方針

1 持続可能な住環境の形成に関する方針

(1) 生活拠点における都市機能の集積による生活利便性の向上

- 全体構想で生活拠点として位置づけられている久井支所周辺、江木地区については、既存の商業・業務機能を活かした土地利用を誘導することにより、地域住民の生活利便性の向上を図ります。

(2) 住環境を支える交通施設の整備

- （主）三原東城線や県道羽和泉室町線など幹線道路の整備を促進することにより、自動車交通を円滑に処理するとともに、地域公共交通等の走行環境向上による公共交通の利用促進を図ります。
- 路線バスの利用が不便な地域では、地域の協力を得て、地域コミュニティ交通など実情に即した新たな交通手段の導入を検討するなど、都市内連携の強化、通院や買い物など公共交通の利便性の維持・向上を図ります。
- 市道整備を推進し、生活環境の改善や自転車・歩行者の安全性の向上を図ります。

(3) 生活排水対策の推進

- 農村集落の生活排水は、農業集落排水事業、合併浄化槽の設置などの手法を検討し、公共用水域の水質保全を図ります。

2 地域資源を活用した活力あるまちづくりの方針

(1) 自然環境を活かしたレクリエーション施設の活用

- 宇根山周辺については、久井の岩海などの自然環境や宇根山家族旅行村、宇根山天文台などとともに、レクリエーション拠点として活用を図ります。
- 野間川ダム周辺、三河ダム周辺については、自然レクリエーション拠点、都市農村レクリエーション拠点として活用を図ります。

(2) ネットワーク形成による地域間交流の促進

- 地域高規格道路広島中央フライトロードなどの広域的道路ネットワークの形成を促進するとともに、国道、県道等の道路ネットワークを活用し、都市間連携、都市内連携を強化し、グリーンツーリズムやUIターン、二地域居住など、都市と農村の交流促進を図ります。
- グリーンツーリズムの促進を図るため、鯉の養魚場など、久井地域特有の資源の保全と活用を検討します。
- 空き家等既存ストックを活かした、都市と農村の交流促進を検討します。

(3) 農業を中心とした地域産業の活性化

- 基幹産業である農業や地域資源・立地条件を活かした産業の活性化を図るため、産業施策と連携し、適切な土地利用の誘導、基盤施設の整備を推進します。

3 安全・安心なまちづくりの方針

(1) 土砂災害などの自然災害による被害軽減対策

- 既存集落背後の急峻な山林は、急傾斜地崩壊対策事業や治山事業などを計画的に実施する事により、土砂災害による被害の軽減を図ります。

(2) 建築物の不燃化・耐震化

- 耐震診断・改修の相談体制の整備や情報提供の充実を図るとともに、耐震診断・改修への支援制度である三原市木造住宅耐震診断事業の活用により、建築物の耐震化を促進します。

(3) 空き家・空き地の対策・活用

- 空き地・空き家の公共空間としての活用や、危険な空き家の解体・撤去などを進めます。

(4) 通学路における安全性の確保

- 登下校中における児童生徒の安全性を確保するため、教育委員会、道路管理者、警察等が連携し、通学路の安全点検及び安全対策等を実施し、通学路の安全性の向上を図ります。

4 自然環境や歴史資源、農地の保全に関する方針

(1) 山林や丘陵地、ため池など自然環境、自然景観の保全

- 宇根山家族旅行村などレクリエーション施設周辺の山林や、丘陵地、ため池などの自然環境、自然景観の保全を図ります。
 - ・ヒョウモンモドキの生息地など貴重な自然環境の保全を図ります。

(2) 優良な農地の保全

- 農地は、生産や景観、自然災害の防止など様々な機能を有しており、農業施策と連携しながら、優良な農地である農用地の保全を図ります。

(3) 歴史・文化資源の保全

- 久井稻生神社や羽倉城跡をはじめとする社寺等の歴史・文化資源については、観光・交流に資する資源として、その周辺一体の自然や景観・風景等を含めた面的な保存に努めます。

久井地域のまちづくり方針図

